

# 令和4年度 通常総会議案書

- 第1号議案 令和3年度 事業報告
- 第2号議案 令和3年度 決算報告
- 第3号議案 令和3年度 監査報告
- 第4号議案 令和4年度 事業計画（案）
- 第5号議案 令和4年度 予算（案）
- 第6号議案 令和4年度 役員人事（案）
- 第7号議案 経営諮問委員人事（案）

日時：令和4年5月30日（月）13：30～

場所：[オフライン]熊本城ホール 3階 A1会議室  
（熊本市中央区桜町3番40号）

[オンライン]Zoom

（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）

(第1号議案)

## 令和3年度 事業報告

### 1 会議報告

#### (1) 総会

期日/場所	内 容	出席人員	備 考
R3.5.25(火) 13:35~14:40 オンライン開催 ( Zoom YouTube 配信 )	議事(議長:村山理事) 1 令和2年度 事業報告 2 令和2年度 決算報告 3 令和2年度 監査報告 4 令和3年度 事業計画(案) 5 令和3年度 予算(案) 6 令和3年度 役員人事(案) 7 経営諮問委員人事(案)	オンライン出席:26名 委 任: 3名 書面表決:70名 計 99名	議案については、全会一致で決議されました。

#### [令和3年度総会議案審議理事会]

期日/場所	内 容	出席人員	備 考
令和2年度 第2回 R3.3.22(月) 16:00~17:00 オンライン開催 ( Zoom )	議事(議長:村山理事) 1 令和2年度 事業報告(案) 2 令和2年度 決算報告(見込み) 3 令和3年度 事業計画(案) 4 令和3年度 予算(案) 5 令和3年度 役員人事(案) 6 経営諮問委員人事(案) 7 部会活動報告	理事出席: 7名 監事出席: 2名 経営諮問委員出席: 3名	議案については、理事及び監事の全会一致で決議されました。
令和2年度 第3回 (書面決済) R3.4.28(水)	議事(議長:村山理事) 1 令和2年度 事業報告 2 令和2年度 決算報告 3 令和2年度 監査報告 4 令和3年度 役員人事(案) 5 経営諮問委員人事(案)	(全議案) 賛成: 8名 反対: 0名	議案については、全理事の同意により決議されました。

## (2) 理事会

期日／場所	内 容	出席人員	備 考
令和2年度 第3回 (書面決済) R3.4.28(水)	議事(議長:村山理事) 1 令和2年度 事業報告 2 令和2年度 決算報告 3 令和2年度監査報告 4 令和3年度 役員人事(案) 5 経営諮問委員人事(案)	(全議案) 賛成: 8名 反対: 0名	議案については、全理事の同意により決議されました。
令和3年度 第1回 R3.5.25(火) 15:00~15:15 オンライン開催 (Zoom)	議事(議長:村山理事) 1 役員の役職について	理事出席: 7名 監事出席: 2名 経営諮問委員出席: 3名	議案については、理事及び監事の全会一致で決議されました。
令和3年度 第2回 R4.3.29(火) 16:00~17:00 熊本中央ビル7F 会議室	議事(議長:村山理事) 1 令和3年度 事業報告(見込) 2 令和3年度 決算報告(見込) 3 令和4年度 事業計画(案) 4 令和4年度 予算(案) 5 令和4年度 役員人事(案) 6 経営諮問員人事(案) 7 部会活動報告	理事出席: 7名 監事出席: 1名 経営諮問委員出席: 3名	

## (3) 九州地域情報化研究部会

期日／場所	内 容	出席人員	備 考
第10回 R3.3.4(木) 15:00~16:20 オンライン開催 (Zoom)	第10回テーマ「ノコード*がもたらすDX推進」 講演会 講師:一般財団法人 NoCoder Japan 協会 代表理事 高橋 翔 氏 部会議事(座長:長崎総合科学大学 横山 名誉教授)	出席: 52名 (講師: 5名)	コロナ感染拡大防止のため、講演会のみ実施

## (4) 経営企画部会

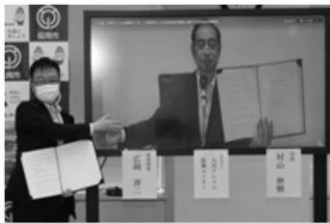
期日／場所	内 容	出席人員	備 考
第1回 R4.3.15(火) 16:00~17:00 オンライン開催 (Zoom)	部会議事(部会長:熊本大学院松島教授) 1 理事会提出予定資料の概要	出席: 6名 欠席: 3名	

## 2 公益事業

### (1) 延岡市と自治体 DX 推進に関する連携協定を締結

普及啓発

延岡市と九州テレコム振興センターそれぞれが保有する知的・人的資源を活用し、相互に連携しながら、国の政策等に基づく延岡市の自治体 DX を推進していくとともに、当該結果を九州地域全体のデジタル化に寄与させていくことを目的とした連携協定を締結いたしました。



締結日時：令和3年5月17日 15時30分～

※オンライン上にて締結式を開催

### (2) 異能 vation チャレンジセミナー in 九州

普及啓発

～想像力×創造力で新たな価値を創出せよ～

日 時：令和3年7月2日（金）14：00～15：30

場 所：オンライン開催（Zoom、YouTube）

主 催：総務省 九州総合通信局、（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）

参加人数：60名

内 容：

「異能 vation」プログラムおよび令和3年度公募内容の紹介

- ・「異能 vation プログラムに関する総務省からのご挨拶」

総務省総務省国際戦略局技術政策課

笠井 康子 氏

- ・「異能 vation プログラムに関する詳細説明」

株式会社角川アスキー総合研究所

福田 正 氏

菅原 敏泰 氏

「破壊的な挑戦部門」挑戦課題の事例発表

- ・「空間を感じる超人化スーツの実現」

神奈川大学 工学部 経営工学科 准教授

松本 光広 氏

九州管内「異能ネットワーク拠点」のご紹介

- ・一般社団法人まちはチームだ〔北九州市〕

事務局長

中川 康弘 氏

- ・a side（あさいど）-満寿屋（ますや）〔大分県別府市〕

長谷川 雄大 氏

- ・特定非営利活動法人若者・留学生サポートステーション響（ひびき）

〔鹿児島県鹿児島市〕

村田 史子 氏

ICT 企業家支援の取組のご紹介

- ・総務省 九州総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課

課長

宮岡 裕昭 氏

### (3) 電波利活用ウェビナー2021

普及啓発

～電波の有効利用と人材育成でイノベーションを起こし地域を変える！～

- 日 時：令和3年10月28日（水）13：00～17：00  
場 所：オンライン開催（Zoom、YouTube）  
共 催：総務省 九州総合通信局、（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）  
後 援：北九州市、（一社）九州経済連合会、（一社）電子情報通信学会九州支部、  
（一社）全国陸上無線協会九州支部、くまもと技術革新・融合研究会（R I S T）  
協 賛：情報通信月間推進協議会、九州電波協力会  
参加人数：120名
- 講 演 1：「電波有効利用の推進に向けて～電波有効利用技術関連施策を中心に～」  
総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課 検定試験官 石原 浩樹 氏
- 講 演 2：「Beyond 5G 研究開発促進事業～シーズ創出型プログラムの紹介～」  
国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）  
オープンイノベーション推進本部  
総合プロデュースオフィス プロデュース企画室長 中川 拓哉 氏
- 講 演 3：「テラヘルツ波を活用した高セキュリティ無線通信技術の研究開発の概要」  
国立大学法人 九州大学 大学院システム商法科学研究院  
情報エレクトロニクス部門 教授 加藤 和利 氏
- 講 演 4：「音で森を見える化-羽音センシングによる害虫防除-」  
佐世保工業高等専門学校 専攻科 複合工学専攻  
電気電子工学系2年 道上 俊介 氏
- 講 演 5：「小型無人機による電波の利活用  
～特定実験試験局を使った実証実験の取組みの紹介～」  
株式会社 国際海洋開発 専務取締役 丹 康弘 氏
- 講 演 6：「ダムにおけるIoT 防災観測システムの開発」  
日本文理大学 大学院航空電子機械工学専攻  
工学部機械電気工学科 教授 稲川 直裕 氏
- 講 演 7：「無線化の問題を解決して製造現場のデジタル化を促進  
～SRF 無線プラットフォームの社会展開～」  
国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）  
戦略的プログラムオフィス 地域連携推進室 佐藤 慎一 氏

### (4) 九州ICTセミナー2021

普及啓発

～産学官連携でDXの最前線を発信し推進する～

- 日 時：令和3年11月10日（水）13時30分～16時35分  
場 所：オンライン開催（Zoom、YouTube）  
共 催：総務省 九州総合通信局、（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）  
後 援：（一社）九州経済連合会、（一社）電子情報通信学会九州支部  
協 賛：九州電波協力会  
参加人数：140名
- 講 演 1：DX 成功への一丁目一番地、  
それは「DXにより実現したい新規事業」を構想すること！  
株式会社 DX パートナース 代表取締役 村上 和彰 氏
- 講 演 2：sitateru CLOUD によるDX 推進の取組について  
シタテル株式会社 代表取締役 CEO 河野 秀和 氏

## 地方自治体のDX推進に向けた取組について

- 1：県と市町の連携による「チーム愛媛」のDX推進について  
愛媛県 企画振興部 デジタルシフト推進課 企画グループ  
担当係長 森 俊人 氏
  - 2：デジタル推進課併任職員による部門横断的なDX推進の取組について  
鹿児島県 肝付町 デジタル推進課 課長補佐 中窪 悟 氏
  - 3：デジタル面接導入等の基礎自治体におけるDXの取組の実行について  
宮崎県 都城市 総合政策部 デジタル統括課 副主幹 佐藤 泰格 氏
- 総務省および経済産業省によるDX関連施策の紹介について
- 1：自治体DX推進について  
総務省 自治行政局 地域情報化企画室 課長補佐 加藤 翔大 氏
  - 2：DX推進のための施策説明～IT導入補助金について～  
経済産業省 九州経済産業局 地域経済部  
情報政策課・デジタル経済室 IoT 専門官 原田 紘之 氏
- DX関連トピックスの紹介
- 崇城大学IoT・AIセンターのDX推進の取組について  
～DXシンポジウム2021～  
崇城大学 情報学部 情報学科 助教 内藤 豊 氏

## (5) ローカル5Gシンポジウム in 延岡

普及啓発

### ～ローカル5Gを活用した地域DXの展望～

日 時：令和3年11月26日（金）14時00分～17時00分

場 所：オフライン会場（延岡市役所2F 講堂）

オンライン開催（Zoom、YouTube）

主 催：総務省 九州総合通信局、延岡市、  
（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）  
九州インターネットプロジェクト（QBP）

参加人数：140名

### ローカル5G活用に向けた様々な取り組み事例の紹介

- 1：九州工業大学における5G実証フィールドの紹介  
国立大学法人 九州工業大学 学長 尾家 祐二 氏
- 2：大分県の5G地活用について  
大分県 商工労働部 DX推進課 課長補佐 武藤 祐治 氏
- 3：教育分野におけるローカル5G実証について  
富士通株式会社 システムビジネス本部エネルギー第一ビジネス統括部  
ビジネスイノベーション推進部 シニアマネージャ 水野 資朗 氏  
九州電力株式会社 テクニカルソリューション統括本部情報通信本部  
ICT事業推進2グループ 副長 甲斐 寛之 氏
- 4：農業、林業現場での事例紹介  
となみ衛星通信テレビ株式会社  
業務部長兼スマートシティ推進室長 浅谷 一寛 氏
- 5：データセンターを活用したローカル5Gの稼働状況及び実証  
旭化成ネットワークス株式会社 事業企画部 新規事業開発グループ  
グループ長 渡邊 洋 氏

- 6：地域創生におけるローカル5Gの活用  
西日本電信電話株式会社 ビジネス営業本部  
エンタープライズビジネス営業部 公共営業部門  
省庁ビジネス推進担当 担当課長 藤林 利行 氏
- 7：5G 関連技術の実証実験に関する取り組み  
国立大学法人 九州工業大学大学院 工学研究院  
電気電子工学研究系 教授 池永 全志 氏
- フリーディスカッション  
テーマ：「九州におけるローカル5Gの更なる活用に向けて」  
〔チェア〕
- ・国立大学法人 九州工業大学 学長 尾家 祐二 氏
  - 〔コメンテーター〕
  - ・総務省 九州総合通信局 布施田 英生 氏
  - ・延岡市長 読谷山 洋司 氏
  - ・事例紹介ご発表の皆様
  - ・一般社団法人 九州テレコム振興センター 専務理事 広岡 淳二 氏

## (6) ICT 研究開発支援セミナーin 九州

普及啓発

～九州総合通信局とNICTが連携して地域のICT研究開発を支援～

日 時：令和4年2月4日（金）14時00分～16時30分

場 所：オンライン開催（Zoom、YouTube）

主 催：総務省 九州総合通信局、  
国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）、  
（一社）九州テレコム振興センター（KIAI）

参加人数：219名

九州総合通信局におけるICT研究開発支援施策の紹介

- ・「地域イノベーションの創出とデジタル人材の発掘・育成」

九州総合通信局 情報通信部長

篠原 信 氏

九州におけるICT研究開発事例の紹介

- ・「高度な画像処理技術やAI技術を活用した研究開発」

宮崎大学 工学教育研究部

情報通信工学プログラム 教授 Thi Thi Zin（ティ ティ ズイン） 氏

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）における地域ICT研究開発推進の紹介

- ・「NICTの地域連携事例の紹介」

NICT オープンイノベーション推進本部 ソーシャルイノベーションユニット

戦略的プログラムオフィス 統括

野尻 英行 氏

イノベーションプロデューサー

吉田 一志 氏

- ・「『きれいな空気を測定』@北九州市での実証実験」

NICT Beyond5G 研究開発推進ユニット テラヘルツ研究センター

テラヘルツ連携研究室 主任研究院

佐藤 知紘 氏

- ・「レンタカー走行データを活用した訪日外国人との共生エコシステムの研究開発」

～NICT 委託研究：データ連携・利活用による地域課題解決のための

実証型研究開発成果報告～

九州工業大学 工学部 電気電子工学研究系 准教授

野林 大起 氏

(7) 九州IoT実装推進ワーキンググループ（第7回）

普及啓発

日時：令和4年2月21日（月）13：30～17：00

場所：オンライン開催（Zoom）

主催：（一社）九州テレコム振興センター（KIAI）

参加人数：40団体、100名出席

概要：①地域におけるIoT実装推進に向けた取り組み状況の紹介

紹介1：「ローカル5Gを活用した閉域ネットワークによる  
離島発電所での巡視点検ロボット運用の実現」

株式会社正興電機製作所

紹介2：「共生社会を見据えた障害者スポーツにおける

リモートコーチングの実現

田川市

紹介3：県・市長一体となったデータ連携基盤の構築について

～「つながる長崎」データ連携基盤整備事業～

長崎県

紹介4：人吉市スーパーシティ構想における

ライティング防災アラートシステムについて

人吉市

②企業におけるIoT実装推進に向けた取り組み状況の紹介

紹介1：「農業×ICT」を通じた地域経済の活性化や街づくりを  
目指して

株式会社NTT アグリテクノロジー

紹介2：日立が考えるデータエコノミーで訪れる近未来図

株式会社日立製作所

③令和4年度予算 各省IoT関連施策説明

総務省、九州運輸局、九州経済産業局

④各自治体からのIoT取り組み事例紹介

熊本県、宮崎県、福岡市



### 3 収益事業

#### (1) 受託事業一覧

「ICT 普及促進事業」、「人材育成事業」、「ICT コンサルティング事業」における委託業務を中心に、今年度は以下の事業を受託しております。

#### 【令和3年度主な契約事業】

受託件名	期 間
阿蘇市デジタル防災行政無線施設整備工事監理業務委託	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日
自治体関連他 ICT コンサルティング業務	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日
国立大学法人 九州工業大学 情報通信分野における産学官連携推進支援業務委託	令和3年7月1日 ～令和4年3月25日
宮崎県北部広域行政事務組合自治体職員データ活用スキル形成研修事業	令和3年7月1日 ～令和3年10月30日
自治体デジタル戦略推進調査関連業務	令和3年7月12日 ～令和4年3月31日
大分県教育委員会 ICT 教育支援アドバイザー等業務 (データ活用基礎スキル研修)	令和3年7月19日 ～令和4年3月11日
佐賀県みやき町 DX 推進支援事業	令和3年10月1日 ～令和4年3月31日
荒尾市 DX 推進計画策定アドバイザー業務委託	令和3年11月1日 ～令和4年3月31日
大分県 DX 推進人材育成事業	令和3年11月1日 ～令和3年12月28日
大分県職員統計データ分析研修事業	令和3年11月16日 ～令和3年11月18日
延岡市情報化推進アドバイザー業務	令和4年1月4日 ～令和4年3月31日
自治体 DX 推進コンサル研修業務	令和4年2月1日 ～令和4年3月31日
データ分析研修事業 (企業等受託 4件)	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日

## (2) 事務局受託事業

### (A) 九州電波協力会 事務局

#### ① 令和3年度 九州電波協力会支援事業

対象行事：・電波利活用ウェビナー2021  
・九州ICTセミナー2021

#### ② 令和3年度 電波の日表彰

※新型コロナウイルス感染拡大防止により、記念式典は中止し、表彰のみ実施  
内 容：総務省九州総合通信局長表彰、九州電波協力会長表彰

#### ③ 令和3年度 九州電波協力会講演会

開催テーマ「5G×エッジコンピューティングがもたらすDX推進」

日 時：令和3年12月15日（水）13：30～16：45

場 所：オンライン開催（Zoom、YouTube）

主 催：九州電波協力会

共 催：（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）

後 援：総務省 九州総合通信局

講 演 1：5G×エッジコンピューティング

「5G時代に求められるサイバーフィジカルシステムと実現される世界観  
～エッジコンピューティング技術を活用した将来のモバイル通信  
システムアーキテクチャーとは？～」

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

Beyond5G デザインイニシアティブ長

石津 健太郎 氏

講 演 2：エッジクラウドサービス

「エッジコンピューティングで描く未来」

日本電気株式会社 新事業・ビジネス基盤開発本部

マネージャー

中村 友宣 氏

講 演 3：エッジデータセンター

「地域創生クラウド構想の推進について」

NTT ビジネスソリューションズ株式会社 バリューデザイン部

コアソリューション部門 担当部長

丁 農 氏

#### ④ 令和4年度 幹事会

日 時：令和4年2月8日（火）15：00～16：00

場 所：九州総合通信局 10F 会議室

内 容：・令和3年度 事業報告及び決算報告について  
・令和4年度 事業計画（案）及び予算（案）について  
・令和4年度 役員及び幹事（案）について  
・その他（総会・講演会等について）

#### ⑤ 令和4年度 定期総会・講演会

- 日 時：令和4年3月4日（金）15:00～16:45  
場 所：KKRホテル熊本（熊本市中央区千葉城町3-31）  
開催場所よりオンライン（Zoom、YouTube）配信  
内 容：  
・令和3年度 事業報告及び決算報告  
・令和3年度 会計監査報告  
・令和4年度 事業計画（案）及び予算（案）  
・令和4年度 役員及び幹事（案）  
講 演：「九州発！世界トップレベルの小型レーダー衛星が作る未来とは」  
～地球をリアルタイムに観測し、生活に役立つデータを提供する～  
株式会社 QPS 研究所 代表取締役社長 CEO 大西 俊輔 氏

#### (B) 九州受信環境クリーン協議会 事務局

##### ① 令和3年度 総会・表彰

- ※新型コロナウイルス感染拡大防止により、総会は書面開催とし、式典は中止  
内 容：  
・令和2年度事業報告  
・令和3年度予算（案）  
・功績表彰

##### ② 令和3年度 常任幹事会

- 日 時：令和3年3月16日（水）15:00～17:00  
場 所：オンライン開催  
内 容：  
・令和4年度委員会議案  
・令和4年度功績表彰の選考

## 4 共益事業

#### (1) 令和3年度 通常総会記念講演会

- 日 時：令和3年5月25日（火）15:30～  
場 所：オンライン開催（Zoom、YouTube）  
主 催：（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）  
記念講演：「IoT, AI が切り拓く、第4次産業革命と Society5.0」  
株式会社 村上憲郎事務所 代表取締役 村上 憲郎 氏

#### (2) 九州地域情報化研究部会講演会

##### <第10回>

- 日 時：令和4年3月2日（水）15:00～16:20  
場 所：オンライン開催  
主 催：（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）  
講演内容：「ノーコードがもたらす DX 推進」～市場の現在地と成功/失敗事例の活用～  
一般財団法人 NoCoders Japan 協会  
代表理事 高橋 翔 氏（株プレスマンCINO）  
理事 船越 裕勝 氏（株インターパーク代表取締役 CEO）  
理事 西谷 大輔 氏（株ユニフィニティ取締役）  
理事 持田 雄一 氏（株ベーシック パートナーアライアンス室長）  
理事 林 侑平 氏（株ベーシック R&D 室長）

(3) 会員向け Web マガジン「Key-Eye」の発行

号 数	発行年月	掲載記事	執 筆 者
第33号	令和3年 5月	Key-Eye ある メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX は気合で乗り切れ！ 国立大学法人広島大学 副学長（情報・IR） 情報メディア教育研究センター 教授 相原 玲二 氏</li> </ul>
		Key-Eye ある トピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員が考案した消防団のための ICT ソリュー ションアプリの開発 情報整備局 代表 和田 晃司 氏</li> </ul>
		Key-Eye ある 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>臼井 昇太 氏 都城工業高等専門学校 電気情報工学科 准教授</li> <li>陣内 和宏 氏 FabLab Saga（ファブラボ サガ）代表</li> </ul>
		Key-Eye ある まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>南校区まちづくり協議会で 「新しい運動会をつくる！」 一般社団法人 熱中こばやし理事 （小林市）南校区まちづくり協議会 会長 吉村 秀昭 氏</li> </ul>
		その他掲載記事：活動報告、ICTデータ、編集後記	
第34号	令和3年 8月	Key-Eye ある メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍が教えてくれたこと ～通信と放送の融合なんてどうでもいい～ 国立大学法人広島大学 副学長（情報・IR 担当） 情報メディア教育研究センター 教授 相原 玲二 氏</li> </ul>
		Key-Eye ある トピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンを利用した学生証革命 株式会社ジェイ・エス・エス スマートソリューション部 小野澤 宝 氏</li> </ul>
		Key-Eye ある 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>西田 健 氏 Nishida Lab 代表</li> <li>松岡 祥仁 氏 株式会社 CLOUD-IA 代表取締役</li> </ul>
		Key-Eye ある まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州将来ビジョン2030「共生・共感・共創アイ ランド九州」の実現に向けて 一般社団法人 九州経済連合会 産業振興・デジタル推進委員会 阪口 経久 氏</li> </ul>
		その他掲載記事：活動報告、ICTデータ、編集後記	

号 数	発行年月	掲載記事	執 筆 者
第35号	令和3年 11月	Key-Eye ある メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>先送り ～その時点ですべき判断や処理を、日時を延ばして行うこと～ 国立大学法人広島大学 副学長（情報・IR 担当） 情報メディア教育研究センター 教授 相原 玲二 氏</li> </ul>
		Key-Eye ある トピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>南砺地域における安心安全で省力化できるIoT 農業管理プラットフォームの構築 となみ衛星通信テレビ株式会社 業務部長兼スマートシティ推進室 室長 浅谷 一寛 氏</li> </ul>
		Key-Eye ある 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>松前 あかね 氏 九州大学 芸術工学研究院 ソーシャルイノベーションデザイン講座 准教授</li> <li>鈴木 邦治 氏 一般社団法人 頑張る地域支援し隊 代表理事</li> </ul>
		Key-Eye ある まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしたいまち日本一を目指して -ウェルネス×スマートシティ- 熊本県荒尾市 総務部総合政策課 スマート推進室 室長 宮本 賢一 氏</li> </ul>
		その他掲載記事：活動報告、ICTデータ、編集後記	
第36号	令和4年 2月	Key-Eye ある メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX への道のり 国立大学法人広島大学 副学長（情報・IR 担当） 情報メディア教育研究センター 教授 相原 玲二 氏</li> </ul>
		Key-Eye ある トピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>さいたま市美園地区における“公民+学”連携の 取り組みについて 一般社団法人美園タウンマネジメント事務局 （サービスマネジメント担当）様</li> </ul>
		Key-Eye ある 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>堀 良彰 氏 佐賀大学 総合情報基盤センター 教授・センター長</li> <li>長谷川 雄大 氏 湯ワーキングスペース a side-満寿屋-代表</li> </ul>
		Key-Eye ある まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT を活用した地域包括ケア 「地域包括ケア情報プラットフォーム」 福岡市 保険福祉局 総務企画部 政策推進課 課長 中村 将道 氏</li> </ul>
		その他掲載記事：活動報告、ICTデータ、編集後記	

#### (4)「情報ランナー」の発行

No.	発行日	内 容
1	4月27日	「令和3年度通常総会記念講演会」開催のご案内
2	5月10日	「令和3年度通常総会」開催のご案内
3	6月11日	「異能vation チャレンジセミナーin九州」開催のご案内
4	10月 1日	「電波利活用ウェビナー2021」開催のご案内
5	10月11日	「九州ICT セミナー2021」開催のご案内
6	10月27日	「ローカル5G シンポジウム in 延岡」開催のご案内
7	11月11日	「令和3年度九州電波協力会講演会」開催のご案内
8	1月 5日	「ICT 研究開発支援セミナーin九州」開催のご案内

## 5 各種会議等参加状況

No.	期 日	会 議 名 等	開催地
1	5月19日	消防庁 アドバイザー業務（オンライン会議）	-
2	6月30日	消防庁 アドバイザー業務（会議）	福智町
3	6月30日	福岡県 DX 戦略推進委員会分科会（オンライン）	
4	7月16日	消防庁 アドバイザー業務（会議）	宇城市
5	8月 5日	福岡県 DX 戦略推進委員会分科会（オンライン）	
6	9月 7日	消防庁 アドバイザー業務（オンライン） 八尾市	-
7	9月21日	総務省 地域情報化アドバイザー会議（オンライン）	-
8	9月22日	消防庁 アドバイザー業務（オンライン） 常総市	-
9	10月 6日	消防庁 アドバイザー業務（オンライン） 埼玉県行田市	-
10	10月 8日	苓北町 地域情報化アドバイザー会議	苓北町
11	10月 8日	延岡市 情報政策推進懇話会	延岡市
12	10月12日	宇佐市 地域情報化アドバイザー会議	宇佐市
13	10月18日	延岡市 情報政策推進懇話会	延岡市
14	11月 8日	消防庁 アドバイザー業務（会議） 沖縄県豊見城市	豊見城市
15	11月19日	九州ブロック 地域情報化アドバイザー会議（オンライン）	-
16	11月25日	消防庁 アドバイザー業務（オンライン会議）高知県室戸市	-
17	11月25日	延岡市 システム調達プロポーザル審査委員会	延岡市
18	12月 9日	福岡県 地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会 「DX人材育成・成長分野等での活躍実現コース」分科会 （書面開催）	
19	2月28日	宇佐市 地域情報化アドバイザー会議（オンライン）	-
20	3月 1日	福岡県 DX 戦略推進委員会分科会（書面開催）	

## 6 会員動向

令和4年4月1日現在

会員数	令和4年度初		令和3年度初 (A)	令和3年度 入会 (B)	令和3年度 退会 (C)
	総会員数	(A) + (B) + (C)			
正会員	165	150	153	1	△4
賛助会員		15	15	0	0

会員口数	令和4年度初 (a) + (b) + (c) + (d)	令和3年度初 (a)	令和3年度 入会 (b)	令和3年度 退会 (c)	令和3年度 口数変更 (d)
		896	1,006	1	△6

## 7 事業報告の付属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はないので、付属明細書は作成していません。

## 令和3年度 決算報告

## 1. 損益計算書（正味財産増減報告書）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

単位：円

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	10,060,000	10,120,000	△ 60,000
② 収益事業収入	29,046,585	24,638,842	4,407,743
③ 協賛金収入	249,000	258,000	△ 9,000
④ 雑収入			
・受取利息	507	1,878	△ 1,371
・雑収入	90,831	54,000	36,831
経常収益計	39,446,923	35,072,720	4,374,203
(2) 経常費用			
① 事業費支出			
・会議費	0	7,700	△ 7,700
・旅費交通費	30,190	2,010	28,180
・収益事業外費	198,780	146,815	51,965
・収益事業費	8,860,985	8,026,034	834,951
・謝金	326,115	285,940	40,175
事業費計	9,416,070	8,468,499	947,571
② 管理費支出			
・役員報酬	7,400,000	7,400,000	0
・給料手当	9,313,280	9,313,280	0
・福利厚生費	3,365,816	3,305,645	60,171
・会議費	52,730	4,616	48,114
・旅費交通費	5,000	2,380	2,620
・通信運輸費	834,548	844,487	△ 9,939
・消耗品費	430,433	251,623	178,810
・貸借費	2,089,349	2,078,530	10,819
・光熱水道・共益費	861,230	831,736	29,494
・租税公課	1,824,500	1,594,100	230,400
・雑費	597,477	305,582	291,895
・減価償却費	239,873	57,996	181,877
管理費計	27,014,236	25,989,975	1,024,261
経常費用計	36,430,306	34,458,474	1,971,832
当期経常増減額	3,016,617	614,246	2,402,371



科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	0	0	0
経常収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常費用計	0	0	0
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>3,016,617</b>	<b>614,246</b>	<b>2,402,371</b>
一般正味財産期首残高	43,612,238	42,997,992	614,246
一般正味財産期末残高	46,628,855	43,612,238	3,016,617
II 指定正味財産増減の部			
① 固定資産受贈益			
・土地受贈益	0	0	0
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>46,628,855</b>	<b>43,612,238</b>	<b>3,016,617</b>

## 2. 収支計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 会費収入	10,100,000	10,060,000	△ 40,000
② 収益事業収入	17,310,000	29,046,585	11,736,585
③ 協賛金収入	500,000	249,000	△ 251,000
④ 雑収入			
・受取利息	5,000	507	△ 4,493
・雑収入	230,000	90,831	△ 139,169
事業活動収入計(A)	28,145,000	39,446,923	11,301,923
2. 事業活動支出			
①管理費支出			
・役員報酬	7,400,000	7,400,000	0
・給料手当	9,400,000	9,313,280	△ 86,720
・福利厚生費	3,300,000	3,365,816	65,816
・会議費	80,000	52,730	△ 27,270
・旅費交通費	150,000	5,000	△ 145,000
・通信運輸費	800,000	834,548	34,548
・消耗品費	100,000	430,433	330,433
・貸借費	2,200,000	2,089,349	△ 110,651
・光熱水道・共益費	750,000	861,230	111,230
・租税公課	1,550,000	1,824,500	274,500
・雑費	350,000	597,477	247,477
・減価償却費	180,000	239,873	59,873
②事業費支出			
・会議費	350,000	0	△ 350,000
・旅費交通費	100,000	30,190	△ 69,810
・収益事業外費	550,000	198,780	△ 351,220
・収益事業費	4,850,000	8,860,985	4,010,985
・謝金	360,000	326,115	△ 33,885
事業活動支出計(B)	32,470,000	36,430,306	3,960,306
事業活動収支差額(A)－(B)＝(C)	△ 4,325,000	3,016,617	7,341,617

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入			
・事業推進安定基金取崩収入	0	0	0
・固定資産充当額取崩収入	0	0	0
②敷金・保証金戻り収入			
・敷金戻り収入	0	0	0
投資活動収入(D)	0	0	0
2. 投資活動支出			
①特定資産取得支出			
・事業推進安定基金支出	0	344	344
②固定資産取得支出			
・固定資産充当額支出	0	0	0
・貸し倒れ引当金	0	0	0
・固定資産除却損	0	0	0
投資活動支出(E)	0	344	344
投資活動収支差額(D)－(E)＝(F)	0	△ 344	△ 344
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①借入金収入			
・短期借入金収入	0	0	0
財務活動収入計(G)	0	0	0
2. 財務活動支出			
・雑支出	0	0	0
財務活動支出計(H)	0	0	0
財務活動収支差額(G)－(H)＝(I)	0	0	0
Ⅳ 予備費支出			
・予備費(J)	0	0	0
予備費支出計(K)	0	0	0
当期収支差額(C)＋(F)＋(I)＋(K)	△ 4,325,000	3,016,273	7,341,273
前期繰越収支差額(L)	23,329,824	23,329,824	0
次期繰越収支差額 ( (L)+(A)+(D)+(G) )－( (B)+(E)+(H)+(J) )	19,004,824	26,346,097	7,341,273

### 3. 貸借対照表

(令和4年3月31日)

単位：円

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金・預金・その他金券	22,609,173	14,466,893	8,142,280
未収金	8,371,180	13,700,678	△ 5,329,498
前払金	364,400	247,000	117,400
仮払金	0	0	0
立替金	0	0	0
流動資産合計	31,344,753	28,414,571	2,930,182
<b>2 固定資産</b>			
(1)特定資産			
事業推進安定化基金	20,282,758	20,282,414	344
特定資産合計	20,282,758	20,282,414	344
(2)その他固定資産			
什器備品	557,317	416,260	141,057
電話加入権	182,300	182,300	0
敷金	551,760	551,760	0
その他固定資産合計	1,291,377	1,150,320	141,057
固定資産合計	21,574,135	21,432,734	141,401
資産合計	52,918,888	49,847,305	3,071,583
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	6,080,342	6,025,376	54,966
仮受金	0	0	0
預り金	209,691	209,691	0
流動負債合計	6,290,033	6,235,067	54,966
<b>2 固定負債</b>			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	6,290,033	6,235,067	54,966
<b>III 正味財産の部</b>			
事業推進安定化基金積立金	20,282,758	20,282,414	344
固定資産充当額	0	0	0
次期繰越金	26,346,097	23,329,824	3,016,273
正味財産合計	46,628,855	43,612,238	3,016,617
負債及び正味財産合計	52,918,888	49,847,305	3,071,583

## 4. 財産目録

(令和4年3月31日現在)

単位：円

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	22,609,173		
現金(金庫保有高)	46,027		
預金	22,548,981		
普通預金(福岡銀行熊本支店)	5,120,768		
普通預金(肥後銀行本店)	17,396,467		
普通預金(郵便局振替口座)	31,746		
その他金券	14,165		
未 収 金	8,371,180		
前 払 金	364,400		
立 替 金	0		
仮 払 金	0		
<b>流動資産合計</b>		31,344,753	
<b>2 固定資産</b>			
(1)特定資産			
事業推進安定化基金	20,282,758		
<b>特定資産合計</b>		20,282,758	
(2)その他固定資産			
什器備品	557,317		
電話加入権 電話2本分	182,300		
敷 金	551,760		
<b>その他固定資産合計</b>		1,291,377	
<b>資産合計</b>			52,918,888
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
預り金	209,691		
未払金	6,080,342		
仮受金	0		
<b>流動負債合計</b>		6,290,033	
<b>III 固定負債</b>			
退職給付引当金	0		
<b>固定負債合計</b>		0	
<b>負債合計</b>			6,290,033
<b>正味財産</b>			46,628,855

## 5. 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について  
 什器備品・・・・・・定率法による減価償却を実施している。(直接法)
- (2) 資金の範囲について  
 資金の範囲は、現金預金、未収金・未払金、前払金・前受金、未収会費・前受会費、前払費用・前受収益及び立替金・預り金を含めることにしている。  
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載のとおりである。
- (3) 消費税の会計処理について  
 消費税の会計処理は税込み方式によっている。

### 2. 次期繰越収支差額

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金・その他金券	14,466,893	22,609,173
未収金	13,700,678	8,371,180
前払金	247,000	364,400
仮払金	0	0
長期前払費用	0	0
立替金	0	0
その他固定資産	1,150,320	1,291,377
計	29,564,891	32,636,130
未払金	6,025,376	6,080,342
預かり金	209,691	209,691
固定資産充当額	0	0
計	6,235,067	6,290,033
次期繰越収支差額	23,329,824	26,346,097

### 3. 特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額の及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事業推進安定化基金	20,282,414	344	0	20,282,758
合計	20,282,414	344	0	20,282,758

#### 4. 固定資産の取得価格及び当期末残高

固定資産の取得価格及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

品目	取得年月	取得原価	前期末残高	当期償却額	除却額	当期末残高
ビジネスホン	H09.03	342,938	1	0	0	1
パソコン	H30.03	348,208	41,713	20,856	0	20,857
パソコン	R03.03	390,830	374,546	187,273	0	187,273
パソコン	R04.02	380,930	0	31,744	0	349,186
ミキサー	R04.02	297,000	0	297,000		0 ※1
パソコン	R04.03	205,700	0	205,700		0 ※1
合 計			416,260	742,573	0	557,317

※1 少額減価償却資産のため、即時償却（収益事業費に計上）

## 6. 附属明細書

### 1. 特定資産の明細

特定資産の明細は「財務諸表に対する注記3.」に記載している。

### 2. 引当金の明細


引当金はない。

## 令和3年度 監査報告

令和4年4月18日

### 監査報告書

一般社団法人 九州テレコム振興センター  
会長 村山 伸樹 殿

監事 足立 國功 

監事 徳永 賢治 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度における「一般社団法人 九州テレコム振興センター」の業務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

#### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会に出席し、理事よりその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めるとともに、決算関連書類等も閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について監査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査いたしました。

#### 2 監査意見

##### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

##### (2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



## 令和4年度 事業計画 (案)

本格的に進展が始まった自治体 DX に対し、本センターの強みを活かし、会員の方々と連携した様々な支援事業に注力していくとともに、総務省九州総合通信局と連携した九州広域におけるデジタル推進に向けても積極的に取り組んでいくことを令和4年度事業の基本方針とし、各種事業を進めてまいります。

### 1 普及促進事業

- (1) 九州総合通信局と連携した多様な事業の推進  
電波利活用セミナー、九州ICTセミナー等、九州総合通信局と連携し、九州における情報通信技術等の普及促進に向けた様々な事業を継続して実施してまいります。
- (2) 九州IoT実装推進ワーキンググループ  
九州広域におけるIoT実装を推進していくための産学官民連携による活動を継続して実施してまいります。なお、IoTというカテゴリーだけでなく、デジタル関連事業全般を包括したより幅広い活動展開を図っていく観点から、令和4年度より本ワーキンググループの名称も改める予定です。
- (3) 地域情報化関係団体と連携した新たな普及促進事業への取り組み  
九州各県の様々な分野における情報化関係団体との新たな連携関係構築も視野に入れた多様な普及促進事業（セミナー開催等）の検討に取り組んでまいります。

### 2 人材育成事業

- (1) データ分析基礎研修事業  
DX時代における必須的スキルである「基礎的データ分析力」の習得に関し、これまで培ってきた豊富な研修事業実績を基に、今後とも積極的な事業展開に努めてまいります。
- (2) DX推進関連スキーム習得研修事業  
基礎的データ分析力と併せ、具体的にDXを推進していくに必要となる様々な問題抽出、課題発見等に有用となるフレームワーク研修の事業展開にも努めてまいります。

### 3 コンサルティング事業

- (1) 自治体の情報化に関する支援  
自治体DX推進による行政業務全体最適化を通じた業務改革、RPAやAI等を活用した業務改善、さらには防災行政無線システム等といった大規模システム調達支援など、自治体の情報化に関連する様々な事業に対する支援に努めてまいります。
- (2) 地域情報化に関する支援  
行政や民間等のオープンデータの推進等に関する取り組み、デジタルデータの効果的な分析による各種政策や計画づくり、地域課題解決に向けたローカル5Gの取り組みなど、地域振興に係る各種情報通信技術を活用した様々な活動を支援してまいります。

### 4 共益事業

会員向けWebマガジン「Key-Eye」の発行、情報ランナーの発行、総会時の講演の他、「九州地域情報化研究部会」の開催継続など今後も活動の強化を図ります。

(第5号議案)

## 令和4年度 予算 (案)

令和4年度 正味財産増減予算書  
(令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで)

単位：円

科 目	令和4年度予算	令和3年度予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	9,100,000	10,100,000	-1,000,000
② 事業収入	21,912,900	17,310,000	4,602,900
③ 協賛金収入	380,000	500,000	-120,000
④ 雑収入			
・受取利息	5,000	5,000	0
・雑収入	200,000	230,000	-30,000
経常収益計	31,597,900	28,145,000	3,452,900
(2) 経常費用			
① 事業費支出			
・会議費	250,000	350,000	-100,000
・旅費交通費	100,000	100,000	0
・収益事業費	5,720,000	4,850,000	870,000
・収益事業外費	580,000	550,000	30,000
・謝金	360,000	360,000	0
事業費計	7,010,000	6,210,000	800,000
② 管理費支出			
・役員報酬	7,400,000	7,400,000	0
・給料手当	9,400,000	9,400,000	0
・福利厚生費	3,500,000	3,300,000	200,000
・会議費	200,000	80,000	120,000
・旅費交通費	150,000	150,000	0
・通信運輸費	850,000	800,000	50,000
・消耗品費	300,000	100,000	200,000
・貸借費	2,200,000	2,200,000	0
・光熱水道・共益費	900,000	750,000	150,000
・租税公課	2,300,000	1,550,000	750,000
・雑費	400,000	350,000	50,000
・減価償却費	280,000	180,000	100,000
管理費計	27,880,000	26,260,000	1,620,000
経常費用計	34,890,000	32,470,000	2,420,000
当期経常増減額	-3,292,100	-4,325,000	1,032,900

科 目	令和4年度予算	令和3年度予算	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-3,292,100	-4,325,000	1,032,900
一般正味財産期首残高	46,009,064	43,612,238	2,396,826
一般正味財産期末残高	42,716,964	39,287,238	3,429,726
II 指定正味財産増減の部			
固定資産受贈益			
・土地受贈益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	42,716,964	39,287,238	3,429,726

(第6号議案)

## 令和4年度 役員人事 (案)

### 1 理事 (敬称略)

氏名五十音順

所 属	氏 名	備 考
国立大学法人九州工業大学大学院 工学研究院 電気電子工学研究系 教授	いけなが たけし 池永 全志	
国立大学法人熊本大学 理事・副学長	うさかわ つよし 宇佐川 毅	新 任
西日本鉄道 (株) 鉄道事業本部施設部部長	つかもと やすひこ 塚本 靖彦	
西日本電信電話 (株) 九州支店 理事ビジネス営業部長	なかむら さとる 中村 哲	
(株) 熊本日日新聞社 情報技術局長兼デジタル化推進室長	ひらおか よしひろ 平岡 義裕	
(一社) 九州テレコム振興センター 専務理事	ひろおか じゅんじ 広岡 淳二	
国立大学法人熊本大学大学院先端科学研究部 情報・エネルギー科学部門 波動情報処理分野 教授	ふくさこ たけし 福迫 武	新 任
九州電力 (株) テクニカルソリューション統括本部 情報通信本部 電子通信部長	ほんだ けんいち 本田 健一	新 任

### 2 監事 (敬称略)

氏名五十音順

所 属	氏 名	備 考
熊本ソフトウェア (株) 代表取締役会長	あだち くにのり 足立 國功	
(株) 肥後銀行 取締役 常務執行役員	たかもと よしろう 高本 芳郎	新 任

(第7号議案)

## 経営諮問委員人事（案）

### 1 経営諮問委員一覧（敬称略）

氏名五十音順

所 属	氏 名	備 考
(株)熊本放送 取締役 管理本部長兼総務局長	うらたに ひであき 浦谷 英明	新 任
NHK福岡放送局 コンテンツセンター専任部長	おおかわ ゆうじ 大川 祐二	
(一社)九州経済連合会 常務理事	ひらい あきら 平井 彰	